

未練はない。でもやっぱり物理が好き

飛び入学 76人卒業

千葉大、98年度から実施

飛び入学は、「高校に2年以上在籍した特に優れた実質を持つ17歳以上の生徒」に大学の入学資格を認める制度。中央教育審議会が1997年6月に制度化を審申し、翌98年に千葉大が導入した。文部科学省によると2019年度入試では全国8大学が実施した。

千葉大では昨年までに76人が卒業した。卒業後の進路は、大学教員や研究機関の研究員が12人。民間企業への就職は43人で、佐藤さんもここに含まれる。

佐藤さんと同じく初代合格者となった堀田晴司さん(39)は農田中央研究所に入った。トヨタとともに自動車部品の材料開発に向けた研究などを進めている。

堀田さんは、学生時代に佐藤さんが「物理屋になれなかったら、トラックの運転手になる」と話していたのを今も覚えている。「ポストや生活が安定せず、研究を諦める人は多い。自分も大学では厳しいと感じ、民間の研究機関に入った。このままだと日本の科学技術はどうなるのか」と思いはある」と堀田さんは語った。

もう1人の初代合格者、松尾圭さん(39)は大学で宇宙物理学を専攻していたが、大学院時代に千葉県の政策提案に関わったことで社会科学分野に転向。現在は、千葉市の生活自立・仕事相談センターで相談支援員として働いている。



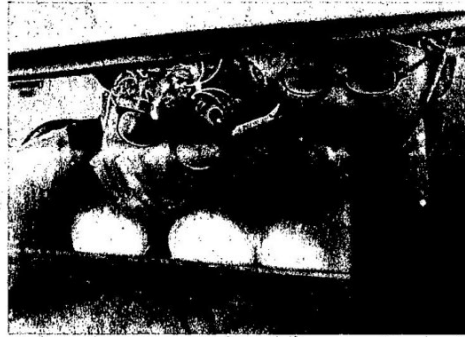
中学2年の男子生徒の家庭教師を務める佐藤さん(2月14日、千葉県成田市で)

「物理を整理する」という言葉を知ったのは、中学2年生の時に「物理の勉強が嫌い」だと思っていたが、家庭教師として教えるうちに「物理が好き」になった。佐藤さんは、物理の勉強が嫌いだった中学生の家庭教師として、2月14日、千葉県成田市で、中学2年の男子生徒の家庭教師を務める佐藤さん(2月14日、千葉県成田市で)と、その生徒の父親と話をしている。佐藤さんは、物理の勉強が嫌いだった中学生の家庭教師として、2月14日、千葉県成田市で、中学2年の男子生徒の家庭教師を務める佐藤さん(2月14日、千葉県成田市で)と、その生徒の父親と話をしている。

「物理の勉強が嫌い」だと思っていたが、家庭教師として教えるうちに「物理が好き」になった。佐藤さんは、物理の勉強が嫌いだった中学生の家庭教師として、2月14日、千葉県成田市で、中学2年の男子生徒の家庭教師を務める佐藤さん(2月14日、千葉県成田市で)と、その生徒の父親と話をしている。

教育

日記



学ぶ 磨く 育つ

きわめる

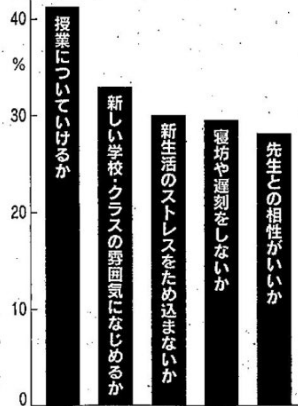
■家政科◎
 オープンの中をのぞいていた八丈高校1年の山本七菜帆さん。製パン実習の先生から「もっとなが方がいいよ」「形は大丈夫」と心配されたが、出来上がりを見る目を見せられた。「これは完璧でしょ」。きれいに焼き上がった「コッペパン」に自信の表情だ。

それでも「毎朝の時に起きて仕込みをする」という製パン業の話を聞くと、「大変」と言。実習とは違つ仕事の世界に驚いた。(東京都八丈町)

子どもの新年度に関して心配なこと

新年度の授業「不安」4割

データ



■新年度、子どもが授業についていけないか心配。保護者の4割がこんな不安を抱えている

ことが日本生活協同組合連合会の「春の新生活スタートに関する調査」で分かった。調査は2月、20～50代の女性1千人に実施した。うち小学生から大学生までの子がいる206人に複数回答で尋ねた。「授業についていけないか」を心配する人は全体で41%で最多。小学生は47%、中学生は45%だった。大学生は「習字や遅刻をしないか」がトップで34%と、授業への心配を押し上げた。

全体では「新しい学校・クラスになじめるか」が33%、「ストレスをため込まないか」が30%で続き、精神面への影響を心配する親が目立った。